



キク編



病害虫注意報 2023年9月号

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

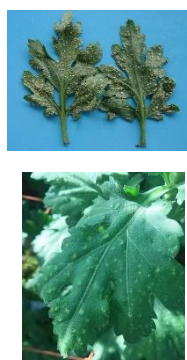
9月は暑さが緩和され病害虫の発生が多くなってきます。
アザミウマ類・ハダニ類・白さび病などの防除を徹底していきましょう！

アザミウマ類



- 被害** ▶ 未展開葉時の加害により
展開葉にケロイド状の被害が生じる
- 多発条件** ▶ キク茎えそ病、キクえそ病のウイルスを媒介する
▶ 20～30℃で多発しやすい
- 対策** ▶ 青の粘着板を利用して早期発見
▶ 除草剤を散布して圃場周辺での増殖を防ぐ

白さび病



- 症状** ▶ 葉に白い隆起した斑点が発生
- 多発条件** ▶ 多湿条件（湿度90%以上）
▶ 梅雨時期と9～10月頃の（15～20℃）冷涼な時期
- 対策** ▶ 循環扇によるハウス内の温度・湿度ムラを減らす
▶ 排水を良好にする
▶ 伝染源の発病株は抜き取り、焼却もしくは土中深くに埋める

今月のおすすめローテーション

⚠ 地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合がありますためご注意ください。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

時期	RACコード	適用病害虫	薬剤名	使用量・希釈倍数	使用時期	回数
定植時	P02	白さび病	予 inochioキクツチャ粒剤	6～9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回
生育初期	M03	白さび病	予 ジマンダイセンフロアブル	500～800倍	—	8回
	34	アザミウマ類	ファインセーブフロアブル	2000倍	発生初期	2回
消灯時	39	白さび病・アザミウマ類 アブラムシ類・ハダニ類	予 ハチハチ乳剤	1000倍	発生初期	4回
	23	アザミウマ類・アブラムシ類 ハダニ類	inochioセイレーンフロアブル	2000倍	発生初期	3回
発蕾時	11	白さび病	予・治 inochioオペラフラワー乳剤	2000倍	発病初期	3回
	5	アザミウマ類・ハダニ類 材料カガ	スピノエース顆粒水和剤	5000倍 (材料カガ 2500～5000倍)	発生初期	2回
破蕾時	19	白さび病	予・治 ポリオキシシンAL水溶剤	2500倍	発病初期	8回
	20B	ハダニ類	カネマイトフロアブル	1000～1500倍	—	1回

半身萎凋病に注意！

病原菌：Verticillium dahliae
最適温度：24℃前後
症状：▶ 株全体の生育不良
▶ 下葉からの葉の萎凋・黄化
▶ 維管束の褐変



薬剤での防除はほぼ土壌消毒に限定されます。
耕種的防除も組み合わせて被害拡大を抑えましょう。

弊社診断持ち込みで半身萎凋病が増えています
2021年度：9件→2022年度：**15件**

～対策～

- 被害株は適切に処分する
- 親株は無病の株を使用する
- 無病畑で栽培する
- 作前の土壌消毒
→ピクリン剤、バスアミド微粒剤